

# 環境未来都市選定までの手順①

## 1. 環境未来都市評価・調査検討会テーマ別評価分科会により、テーマ別の評価を行い、評価結果を環境未来都市評価・調査検討会に報告する。(1次評価)

(環境未来都市選定基準の2. ①c.「適切な課題・目標設定と価値創造性」(ただし、このうち価値創造性に係る部分を除く)並びに2. ②a,b及びcの評価項目について評価。)

(取りまとめイメージ)

提案者	評価項目 (選定基準)	テーマ										評価項目 ごと平均	テーマ数	備考	
		環境				超高齢化対応				その他					
		a	b	c	d	e	f	g	h	i					
		低炭素・ 省エネルギー	水・大気	自然環境・ 生物多様性	3R	医療産 業	地域医 療	地域の 介護・福 祉	子育て・ 教育	1	2				
1	〇〇市	①c.のうち「適切な課題・目標設定」	4.0	—	3.5	4.0	—	—	—	2.3	3.3	4.0	3.5	6	その他1:〇〇 その他2:〇〇 定性評価
		②a.包括性・戦略性	3.3	—	2.3	3.3	—	—	—	3.3	2.0	4.0	3.0		
		②b.事業性・熟度	2.0	—	2.0	3.0	—	—	—	3.0	2.0	4.0	2.7		
		②c.本気度	3.3	—	2.0	3.0	—	—	—	3.0	1.0	3.0	2.6		
		上記4項目の合計	12.6	—	9.8	13.3	—	—	—	11.6	8.3	15.0	11.8		

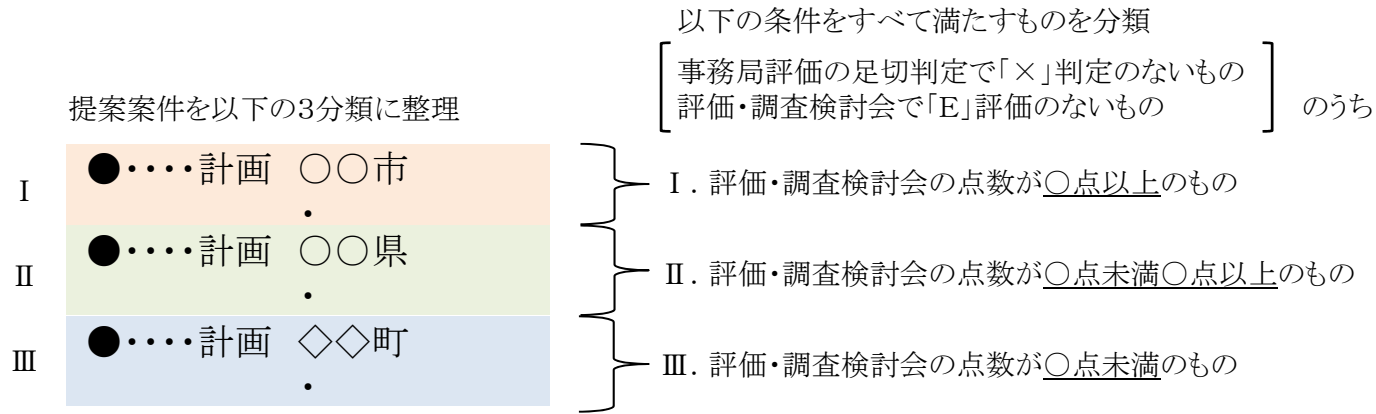
## 2. 1. の報告を参考にしつつ、環境未来都市評価・調査検討会において提案ごとに「①将来ビジョン」「②取組内容」「③体制」について書面審査を行い、ヒアリング対象を決定する。(2次評価)

(取りまとめイメージ)

提案者	①将来ビジョン			②取組内容			③体制			合計点(※)	区分 (I~IV)	定性評価	
	a.魅力度	b.必然性	c.適切な課題・目標設定と価値創造性	a.包括性・戦略性	b.事業性・熟度	c.本気度	a.実効性・熟度	b.プロジェクトマネジメントの着実な実施	c.都市間連携・ネットワークの有効活用				
1	〇〇市	4	3	3	4	2	2	3	2	3	26		

※ 合計点は、各委員の9つの項目全体の合計値を計算し、その点数を、評価した委員数で単純平均(小数点第1位を四捨五入)して算定する。そのため、各委員の9つの項目ごとの点数を、評価した委員数で単純平均(小数点第1位を四捨五入)した値の合計とは異なる場合がある。

## 環境未来都市選定までの手順②



※ ○点については、全体の点数分布、選定数とその対象とする候補数などにより決定

3. 環境未来都市評価・調査検討会において、提案者からのヒアリングを実施し、選定推薦案を作成する。(3次評価)

4. 新成長戦略実現会議分科会(総合特区制度、「環境未来都市」構想に関する会議)において、環境未来都市評価・調査検討会の選定推薦案を検討し、選定案を決定し、当該選定案に基づき、地域活性化担当大臣が、選定する。